

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第194号 2020年7月号 だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** ツバメのヒナが育っています ***

桶ヶ谷沼ビジターセンターの事務室入口の天井付近にツバメが巣をつくりヒナが育っています。

5月上旬から巣作りが始まり、そのうちに産卵したのか抱卵するようすが見られ、6月上旬には5匹のヒナがかえりました。2羽の親ツバメがせっせとエサを採ってきては大きく開けたヒナの口に入れていきます。エサはトンボやガ、ハエなどの生きた昆虫なのですが、桶ヶ谷沼にはトンボがたくさんいるため、トンボを与えていることが多いです。トンボを始め動植物の保護をお願いしているビジターセンターとしては、複雑な気持ちです。



大きく口を開けエサをねだるヒナと、ヒナにエサをやる親鳥

このまま順調に成長し、無事に巣立つことを祈ります。

ツバメは軒先などに巣を作りますが、これはカラスなどの天敵から守るためだと考えられています。9月から10月になり気温が下がリエサとなる昆虫が少なくなるころに、台湾やフィリピンなど遠い南の国に旅立ちます。そして、来年の春再びやってくることでしょう。

桶ヶ谷沼や鶴ヶ池付近で観つけた植物



①



②



③

①「ヒツジグサ」: スイレンです。花は6月ごろから11月ごろまで。未の刻(午後2時)ごろに花を咲かせることからヒツジグサと名前がつけましたが、実際は朝から咲いています。

②「クチナシ」: 6月から7月ごろに咲き、いい香りがします。花が咲いた当初は白色ですが、だんだんと黄色くなってきます。観賞用に八重咲きに品種改良されたものもあります。

③「ササユリ」: 桶ヶ谷沼付近では5月中旬から花が咲き6月中旬には見られなくなります。葉が笹に似ているのが名前の由来です。発芽してから花が咲くまで7年かかります。

トンボのオス・メスのちがい

トンボはオス（♂）とメス（♀）で体や翅の色や模様が違います。桶ヶ谷沼で観られる代表的なトンボのオス（♂）とメス（♀）を紹介します。



シオカラトンボ♂



シオカラトンボ♀



ハラビロトンボ♂



ハラビロトンボ♀



コフキトンボ♂



コフキトンボ♀



ショウジョウトンボ♂



ショウジョウトンボ♀



モノサシトンボ♂



モノサシトンボ♀



キイトンボ♂



キイトンボ♀

◎ 今回紹介したコフキトンボ♀は「オビトンボ型」と呼ばれるものです。他に体色や翅の色、模様が異なるものもいます

自然との触れ合いを

《行事予定》

夏のトンボ観察会

* 日程 7月26日(日) 9:30~11:30

* 場所 桶ヶ谷沼周辺

* 対象 一般（小学生以下は保護者同伴で。ただし、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として引率は1人までとさせていただきます。また、未就学児の参加はご遠慮ください）

* 内容 ショウジョウトンボやキイトンボなど色鮮やかな夏のトンボの観察

* 服装・持ち物 マスク着用 帽子 長袖・長ズボンで野外活動ができる服装 水筒
メモ用紙 その他必要なもの

どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接電話やFAXでビクターセンターへ

☆ 新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加人数は20人までとし、先着順とさせていただきます。

◎ 次のセンター行事は9月20日(日) 13:30~15:30「ザリガニを調べよう」を予定しています。